



天平の横笛、ふくしまの横笛

3月19日(土)に、プロムナードギャラリーにて、当館ボランティア主催のイベント「天平の横笛、ふくしまの横笛ー音楽と歴史と伝統芸能のコラボレーションー」が開催されました。

ドイツ在住の横笛奏者天田透さん(写真右から2番目)が中心となって、当館収蔵の玉川村江平遺跡からみつかった奈良時代の日本最古級の横笛について、形態や音色等の特徴を探るとともに、現代に伝わる各地の横笛について、その形や指使い、音色などの比較検討が行われました。

第一部では、天田さんが「天平の音色」と題して、江平遺跡の横笛についての講演を行い、世界各地から持参した横笛を元にその地域性や歴史などについてのお話を聞くことができました。

第二部では、交流会「ふくしまの音色を探る」をテーマとして、イベントを共催していただいた白河提灯祭壮者会のみなさんが横笛の演奏を行い、その調子や指使いなどを実演していただき、県内各地から持ち寄っていただいた横笛の形や指使い、音色などを比較検討しました。

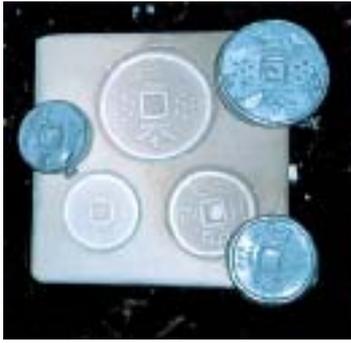
第三部では、天田さんによる横笛の即興演奏会を開催し、参加者のみなさんにも持ち寄った横笛の演奏に挑戦していただきました。

今回、収蔵資料の検討をきっかけに、大変有意義な取り組みを行うことができました。今後もまほろんでは、地域のみなさんと一緒になって歴史と文化、伝統について考えるこのようなイベントに取り組んでいければと考えています。



古銭づくり

去る3月13日(日)、実技講座「古銭づくり」を行いました。今回は、まほろんでも初めての鋳物講座です。写真で見ると、参加者のみなさんは、できあがった鉛製のオリジナル古銭をととても喜んでいました。



＜できあがった古銭と鋳型＞

作り方を説明しますと、最初に鋳型を作りましました。まほろんで用意した石膏鋳型に、参加者各自が“富本銭”ならば「富」「本」、 “和同開珎”ならば「和」「同」「開」「珎」の文字を彫り込みます。古銭の鋳型は3個ありましたので、1つには自由に文字や記号を彫ってもらいました。古銭1個の大きさは直径6cmほどでしたの



＜鋳型に文字を彫る＞

で、文字は小さく細かいものとなりました。篆刻刀やニードルを使って彫るのは大変でしたが、2時間ほどで鋳型が完成しました。

その後、いよいよ鋳込み作業に入りました。七輪の中で木炭を燃やし、スチール缶に原料の鉛を入れて溶かしました。鉛は約330℃で溶けますので、溶けて液状になったらトリベで鋳型に鋳込みます。鋳込みのタイミングがむずかしく、あまり鉛温度が上がるとボコボコと沸騰しますし、温度が低いと鋳込むときにすぐに冷えて固まってしまう。講座の前に何度か鋳込み実験をくり返しましたが、なかなか思うようなタイミングがつかめませんでした。できあがった多くの古銭は、空気が入ったような穴があいたもので、鋳型に彫り込んだ文字も認められませんでした。

“金属の鋳込み温度が高いときは、ジャガイモの細切りを入れると温度が下がるよ”とまほろんボランティア



＜溶けた鉛を鋳込む＞

の星秀夫さんにアドバイスされ、実行してみますと、な〜んとこれがうまくいきました。穴あき古銭ではなく、文字が浮き出る古銭が鋳込めました。実際の講座でも、鋳込み直前にジャガイモを入れ、成功しました。

初めての鋳物関係の講座でしたが、実際に作業を行ってみると専門的な技術体験は、非常にむずかしいことを痛感した講座でした。

毬杖大会

まほろんにたくさんある講座やイベントの中でも毬杖は唯一のスポーツかもしれません。寒い冬に元気に外で遊んでもらおうということで、2月6日と3月20日に毬杖大会の第1回、第2回を行いました。

毬杖は現代のホッケーに似た遊戯で、木の枝で作ったスティックと木片を削って作った玉を打ち合うゲームです。もともとは馬に乗って行ったり、身分の高い人たちが楽しんだようですが、中世以降は庶民に広がり、お正月の男の子の代表的な遊びになりました。

毬杖をそのまま行うことは危険すぎるため、まほろんで実際に試合をするときには、危ないことのないように特別ルールを作って試合に臨んでもらいました。



＜2月6日の毬杖大会のようす＞

第1回大会は、家族やまほろんボランティアの有志など4チームが参加し、ごちない審判のもと大会は無事終了しました。栄えある第1回優勝は「チームしんちゃん」です。第2回大会は参加チームも増え、皆さんの協力の下、スムーズな試合運びとなりました。参加チームの中には前回は上回る上位入賞を目指してきたり、優勝旗を狙うチームもいたりレベルの高い大会になってきました。なみいる強豪チームをおさえての第2回優勝チームは初参加の「南部ファイヤー」でした。

スティックが折れるなどのハプニングもありましたが、思わぬ好プレー珍プレーに一喜一憂して、みなさんには、十分楽しんでいただけたことと思います。

17年度は来年の2月5日に第3回毬杖大会を開催します。実際に参加してみると大人も子どもも関係なく楽しむことができますので、体験してみたい方はぜひ職員に声をかけてみてください。



研修課より

4～6月文化財研修のご案内

研修課では、今年も多く研修を計画しています。今回は4月から6月にかけて実施する研修をご案内いたします。

体験学習支援研修は2回行い、4月29日には土器づくり、5月29日には4月に作った土器の野焼きを実施します。今回は野焼きの具体的な手順やノウハウを研修することで、教職員の方々に一貫した土器づくりを覚えていただきます。ぜひチャレンジしてみてください。

5月25・26日には埋蔵文化財事務研修を実施します。昨今は発掘調査業務から積極的な埋蔵文化財の利活用へとシフト変換が求められており、時代に即した埋蔵文化財行政戦略と、臨機な事務手続きの方法を学びます。

6月11日の専門考古学講座Ⅰには、国立歴史民俗博物館の今村峯雄先生を講師に迎え、「縄文・弥生時代の高精度年代体系」と題して加速器質量分析による炭素14年代測定についての講義をいただきます。弥生時代の開始年代や、福島県内各遺跡から出土した縄文土器の内側に付着したスス状炭化物から測定した縄文時代の実年代など、興味深いお話が聞けます。

6月18日に行われる入門考古学講座Ⅰは、県内で発



＜昨年度の体験学習支援研修（土器づくり）のようす＞

掘調査された考古資料を素材として、福島県の原始・古代を学ぶ入門講座です。

文化財研修も今年で5年目となり、受講を希望されている方々のニーズにも次第に変化が見えてきました。今年度は、入門的分野はより分かり易く面白く、体験学習分野はメニューを増やし、基礎分野は現在の技術的ニーズに応え、専門研究的分野はより専門性を高める工夫をしております。さらに、皆様の多様なご要望にお応えすべく臨時館内研修や職員派遣研修もリアルタイムに開催いたしますので、ぜひお申し込み下さい。一同お待ちしております。

総務管理課より

平成16年度は入館者31,000人

おかげさまで持ちまして、まほろんは平成16年度も3万1千人を越える方々にご来館いただきました。昨年7～9月は猛暑のためか来館者も一時期減少いたしましたが、春秋冬の時期にはこれまでも増して多くの方々にご利用いただきました。

入館者に占める高校生以下の割合は、約35パーセントと昨年度よりも7ポイント低下し、一般のみなさん方（特に年配者）の利用が増える傾向が認められます。来館者に占める団体の割合については、約53パーセントと昨年より増えています。また、来館者に占める県外者の割合も約30パーセントとなっており、5ポイント程アップしています。全体的に一般の団体が昨年よりも増加した傾向があると思われます。

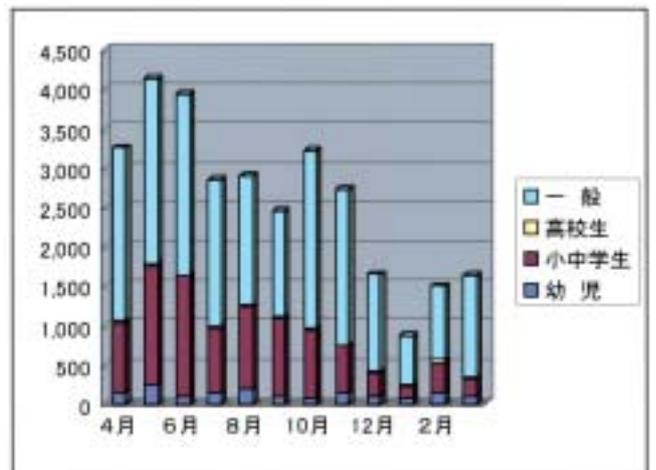
まほろんでは、新年度も春・秋の企画展に加えて、新たな体験学習メニューやイベント、各種実技講座を用意して皆様のご参加をお待ちしております。なお、新年度行事の詳しい紹介も行っておりますので、まほろんのホームページもご覧ください。



＜平成16年度団体比率・来館元グラフ＞

	幼児	小中学生	高校生	一般	入館者合計
4月	146	887	15	2,208	3,256
5月	231	1,528	28	2,342	4,129
6月	94	1,537	4	2,304	3,939
7月	135	826	31	1,854	2,846
8月	180	1,055	16	1,649	2,900
9月	87	998	24	1,341	2,450
10月	74	866	14	2,269	3,223
11月	131	600	2	1,984	2,717
12月	104	292	13	1,238	1,647
1月	70	159	4	628	861
2月	132	392	28	940	1,492
3月	91	230	13	1,294	1,628
合計	1,475	9,370	192	20,051	31,088

＜平成16年度入館者数一覧表＞



＜平成16年度入館者数グラフ＞

今年度の行事予定

1 実技講座(野焼き以外は先着順、時間はそれぞれのメニューによって違いますので、お問い合わせください)

期 日	体 験 メ ニ ュ ー	体 験 内 容	募集締切	募集人数	対 象	材料費
4月17日(日)	土器づくりその1	小型の土器をつくります。	4月10日	20名	小学生以上	100円
4月30日(土)	つり針づくり	シカの角で釣り針を作ります。	4月24日	20名	小学5年生以上	200円
5月 4日(水)	土笛・土鈴づくり	粘土で土の笛や鈴をつくります。	4月26日	20名		100円
6月 4日(土)	土器・土笛・土鈴の野焼き	4・5月につくった土器などを焼きます。	-	-		-
6月18日(土)	火打ち金づくり	糸ノコの刃を使って火打ち金をつくります。	6月12日	20名		200円
7月 9日(土)	カラムシから布をつくろうその1	カラムシを刈り取り、繊維を取ります。	7月3日	20名		200円
7月23日(土)	カラムシから布をつくろうその2	カラムシの繊維を紡いで糸をつくります。	-	-		
7月31日(日)	土器づくりその2	小型の土器をつくります。	7月24日	20名	小学生以上	100円
8月 6日(土)	耳飾りづくり	粘土で縄文時代の耳飾りをつくります。	7月31日	20名	小学4年生	50円
8月21日(日)	土器・耳飾りの野焼き	土器と耳飾りを焼きます。	-	-	以下は	-
8月27日(土)	カラムシから布をつくろうその3	糸からアンギン台で布を織ります。	-	-	保護者の付き	-
9月18日(日)	竹笛をつくろう	女竹(めだけ)で篠笛(しのぶえ)をつくります。	9月11日	20名	添いが必要	300円
10月 1日(土)	土器づくりその3	小型の埴輪をつくります。	9月25日	20名		100円
10月29日(土)	土器の野焼き	土器の野焼きをします。	-	-		-
11月20日(日)	埴輪づくり	円筒埴輪をつくります。	11月13日	15名		100～200円
12月 3日(土)	凧づくり	竹ひごや和紙で凧をつくります。	11月27日	20名		200円
12月11日(日)	埴輪づくり	形象埴輪をつくります。	12月4日	-		100～200円
1月14・15日(土・日)	土器づくり上級編その1	大型の土器をつくります。	1月8日	10名	中学生以上	200円以上
1月28日(土)	古代のガラス技術にふれよう	ガラスの勾玉をつくります。	1月22日	20名	小学生以上	300円
2月11・12日(土・日)	土器づくり上級編その2	大型の土器をつくります。	2月5日	10名	中学生以上	200円以上
2月25日(土)	獣脚ろうそくづくり	型を使ってろうそくをつくります。	2月19日	20名	小学生以上	300円
3月11日(土)	土器の野焼き上級編	大型の土器の野焼きを行います。	-	-		-
3月25日(土)	和鏡づくり	鋳型を使って和鏡をつくります。	3月19日	10名	中学生以上	500円

2 まほろんイベント(先着順、時間はそれぞれのメニューによって違いますので、お問い合わせください)

期 日	イ ベ ント 名	イ ベ ント 内 容	募集締切	募集人数	対 象	材料費
5月 5日(木)	昔話を聞こう	実演による昔話を聞きます。	当日参加	-		無料
7月18日(月)(予定)	ボランティアイベント	体験広場で様々な体験をします。	当日参加	-	どなたでも	-
8月13・14日(土・日)	鉄作り準備(砂鉄洗い)	流水で砂鉄の選別を行います。	当日参加	-		無料
9月 3日(土)予定	体験発掘ツアー	調査中の遺跡で発掘を体験します(場所未定)。	8月28日	20名	小学生以上	無料
9月10・11日(土・日)	鉄作り準備(羽口づくり)	粘土で鉄作りに使う羽口をつくります。	当日参加	-	どなたでも	無料
11月5・6日(土・日)	鉄づくり	製鉄炉で砂鉄から鉄をつくります。	10月30日	-	小学生以上	無料
12月 4日(日)	餅つき大会	竪杵と横杵で餅をつきます。	当日参加	-		無料
1月 8日(日)	第2回双六大会	昔の遊び「双六」の大会を行います。	12月28日	20名	どなたでも	無料
2月 5日(日)	第3回榎杖大会	中世の和式ホッケー「ぎっちょう」の大会です。	1月29日	20名		無料

3 まほろん森の塾(今年度の登録はメ切りましたので、来年度ご参加ください)

期 日	体 験 メ ニ ュ ー	体 験 内 容	募集内容
4月30日(土)	結団式、田植え	古代米の苗で田植えをします。	1 小学5年生～中学3年生 2 定員15名 3 継続して半年間活動できること 4 申し込み受付は終了しました。 5 材料費2,000円
5月14日(土)	双六と榎杖を楽しむ	昔のあそび双六と榎杖をします。	
6月11日(土)・12日(日)	釣り針づくり、春のお泊り会	鹿角で釣り針をつくり、釣りをします。	
7月 2日(土)	石器づくり(弓矢づくり)	石のやじりと弓をつくります。	
7月18日(月)(予定)	ボランティアイベント参加	ボランティアイベントに参加します。	
9月10日(土)	縄文時代の土製品づくり	粘土で縄文時代の土製品をつくります。	
10月 8日(土)	田んぼで稲刈り	石庖丁で弥生時代の稲刈りを体験します。	
10月29日(土)	秋の収穫祭と解団式	古代の畑でとれた収穫物で料理をつくります。	

4 館長講演会(年6回) / まほろん文化財講座(2回)

期 日	講 演 題	募集締切	募集人数	対 象	入場料	
4月23日(土)	シリーズ「考古学からみた”都市”」 第1回「都市のはじまり - 西アジア - 」	先着順	60名	どなたでも	無料	
5月28日(土)	第2回「都市のひろがり - 北アフリカ・南アジア・ヨーロッパ - 」					
6月25日(土)	第3回「ローマ帝国の都市」					
10月29日(土)	第4回「都市と都城 - 西の都市、東の都城 - 」					
11月26日(土)	第5回「中国の都城」					
12月17日(土)	第6回「日本の都城と都市」					
期 日	講 座 名	講 師	募集締切	募集人数	対 象	入場料
2月18日(土)	私が掘ったあの遺跡 - 県中 -	当事業団職員	先着順	60名	どなたでも	無料
3月18日(土)	私が掘ったあの遺跡 - 会津 -					

各行事への申し込みは、当館までがき、電話、FAX、電子メール、ホームページの申し込みフォーム等でご連絡いただくか、または、来館時に所定の申込書にご記入ください。(ご家族での申し込みは、まとめてでもかまいません。)